

山本通産

山本通産(ytc)は、世界有数の大手化学メーカーの顔料・染料の色材を中心とした化学品や、色彩計測機器をはじめとした精密機器などを幅広く取り扱う「色と光の専門会社」として国内外で存在感を高めている。顔料専門会社としての基盤強化や、顔料・添加剤・樹脂などトータルソリューションを提供するモジュール化に力を注いだ結果、第5次3カ年経営計画の1年目にあたる2016年は前年に続く過去最高となる売上高215億円を達成した。2年目は単体売上高227億円を目指しており、「これまでのところ順調に推移している」(小野恒二社長)。

色と光の専門会社として長年培ってきたノウハウを生かし、ビジネスの裾野拡大を目指す。

同社は裾野拡大の一環として加工ビジネスを本格化しており、顧客ニーズに適合した商品の供給に力を注いでいく。また取り扱い商

材の豊富なバリエーションをベースに、色彩創造センターでオリジナルカラーを創造し、最終ユーザーに提案するビジネスモデルも推進する。創業100周年を迎える3カ年計画の最終年度2018年には、売上高250億円を目指している。

創業100周年を迎えるのを機に、ブランディングプロジェクトも立ち上げた。社員の振る舞いや仕事の取り組み方についてデザインする。

社員参加型で、社員が共有できるマニュアルなどを作成する予定。

一方、社長直轄組織として新規事業の開拓を目指し市場開発プロジェクトを発足させた。同時に7カ国・8拠点の海外拠点間の連携を強め、積極的にグローバル化を推進し、日本のytcからアジアのytcへ発展させていく。

ビジネスの裾野拡大着々